





## 無料・低額診療事業の利用状況

申請件数	16件
申請受理	16件
平均年齢	55.7歳
男女比	男性11名、女性5名
減免率(全額または半額)	医療費全額免除16件
減免期間(最長6ヶ月)	6ヶ月16件
紹介経路	協立病院3件、他の病院1件 民医連保険薬局1件 医療生協内介護事業所3件 市役所2件、公的機関1件 報道をみて3件、口こみ1件
公的制度の活用	7件(身体障害者手帳申請:2件、生活保護申請:3件、障害年金支給:1件、自立支援医療申請:1件)

2010.12.24~2012.1.31まで

生活困難者のために無料又は低額な料金で診療を行う無料・低額診療事業(以下「無低診」)を開始し、この一年間で十六件の申請がありました。

申請された方の年齢層は三十代から八十年代まで様々ですが、働き盛りの子ども連れの方もいらっしゃいます。「生活保護の対象とはならないが、医療費の支払いが困難」、「生活保護を受けていたが中止となり病院にかかれなくなつた」など相談がありました。いずれも申請を受理し、適切な治療が受けられるようになりました。

ところで、無保険で病気の人の中には自暴自棄になっている方もおられ、無低診の話をしても信用してもらえませんでした。しかし、実際に治療に繋がるところ、「健康な自分に戻りました。

富山医療生協では、無低診と合わせて、生活困難な方の相談や公的制度の紹介、ホームレスの方の支援なども行っています。ホームレス支援では、無低診の

活動を継続的にサポートしていくことも重要です。そのためにも、地域での支え合

いが大切です。

## 「いのち」を守る

No. 1

お知らせ、食事の差し入れ、看護師の血圧測定や健康相談、毛布や帽子などの支援物資配付などを実施しています。「普段、血圧を測る人が来ないから、看護師さんが来てくれて大変嬉しい」、「寒い時期だから暖かい物は助かる」と大変喜ばれています。

富山協立病院 事務次長 宮腰幸子

## このような方は各事業所までお申し出下さい

- 保険証をお持ちでない方
- 国民健康短期保険証、資格証明証が発行されて困っている方
- 病気や障がい失業などで収入がなくなり困っている方
- 医療費の支払いをすると生活に困難が生じる方

## 無料・低額診療事業開始から一年

## たすけっとクラブ通信



▲雪かきに汗を流す協力者さん

たすけっとクラブ  
コーディネーター  
畠垣由佳子

ご利用、協力者登録のお問い合わせは  
「たすけっとクラブ」 076-441-8352まで

11年度 第八回理事会報告

十二月二十四日(土)、協立病院会議室において、定員二十七名中十八名の出席で第八回理事会を開催しました。

〔主な内容〕

①十一月の事業概況と経営収支について確認しました。

②電子カルテ導入にあたりました。

〔報告〕

説明と準備状況について報告を受けました。

〔実施〕

④年間目標の総達成にむけて事業所・支部ともに、計画を持って取り組んでいくことなどが協議されました。

地域フラッシュ

1月17日 五福神明支部 「ハロー五福にて健康相談会」 18名参加

1月23日 藤ノ木支部 「騒いきいき班会」 開班 7名参加

1月24日 山室支部 「新年組合員交流会」 13名参加

1月29日 水橋西部支部 「新組合員のつどい」 15名参加

1月29日 水橋西部支部 「新年組合員交流会」 13名参加

